

平成26年度第3四半期（平成26年10月～平成26年12月） 再資源化預託金等の運用の実績

⇒詳細は「資金管理業務諮問委員会の報告 第60回（平成27年2月27日開催）資料6-1」をご参照ください。

■平成26年度第3四半期（平成26年10月から平成26年12月末まで）に資金管理法人の口座に入金となった預託金額は122億円でした。これに前期からの繰越金63億円（前期末入金38億円、流動性確保額25億円）、運用収入27億円及び債券満期償還金195億円を加え、メーカー等へ払渡した金額84億円、輸出返還の金額47億円、当期末の入金34億円及び当期流動性確保額25億円を差引いた218億円が運用可能な金額でした。



※1 次期繰越額等とは、債券の運用を次期に繰越した額及び支払経過利息の合計額です。支払経過利息とは、債券を購入するとき売りに支払った前回利払日翌日から購入の受渡日までの日数分の利息相当額のことです。

この結果、平成26年12月末の保有債券の残高および平成26年度における新規取得債券（平成26年4月から平成26年12月末まで）の種別構成比は次のようになりました。

償還年度	年限	保有債券簿価	構成比
～平成27年度	1以下	1,181億円	—
平成28年度	2	882億円	11.4%
平成29年度	3	882億円	11.4%
平成30年度	4	882億円	11.4%
平成31年度	5	882億円	11.4%
平成32年度	6	882億円	11.4%
平成33年度	7	882億円	11.4%
平成34年度	8	883億円	11.4%
平成35年度	9	883億円	11.4%
平成36年度	10	704億円	9.1%
合計		8,945億円	100.0%

債券種別	新規取得額	構成比	年度計画
国債	651億円	92.4%	92.4%
政府保証債	54億円	7.6%	7.6%
合計	705億円	100.0%	100.0%

■第3四半期に取得した債券の運用の成果は、概ね市場の金利を踏まえたものになっています。

実績最終利回り(A)※2	評価指標利回り(B)	(A)－(B)
0.35%	0.41%	△0.06

※2 第3四半期に取得した債券の加重平均利回りです。

■各年度末の保有債券全体の最終利回りの推移は次のようになっています。

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年12月
1.15%	1.24%	1.32%	1.37%	1.37%	1.35%	1.29%	1.21%	1.14%

（注）合計が一致しないのは四捨五入のためです。

以上